株式会社クラレ

2026 年度第 2 四半期決算説明会

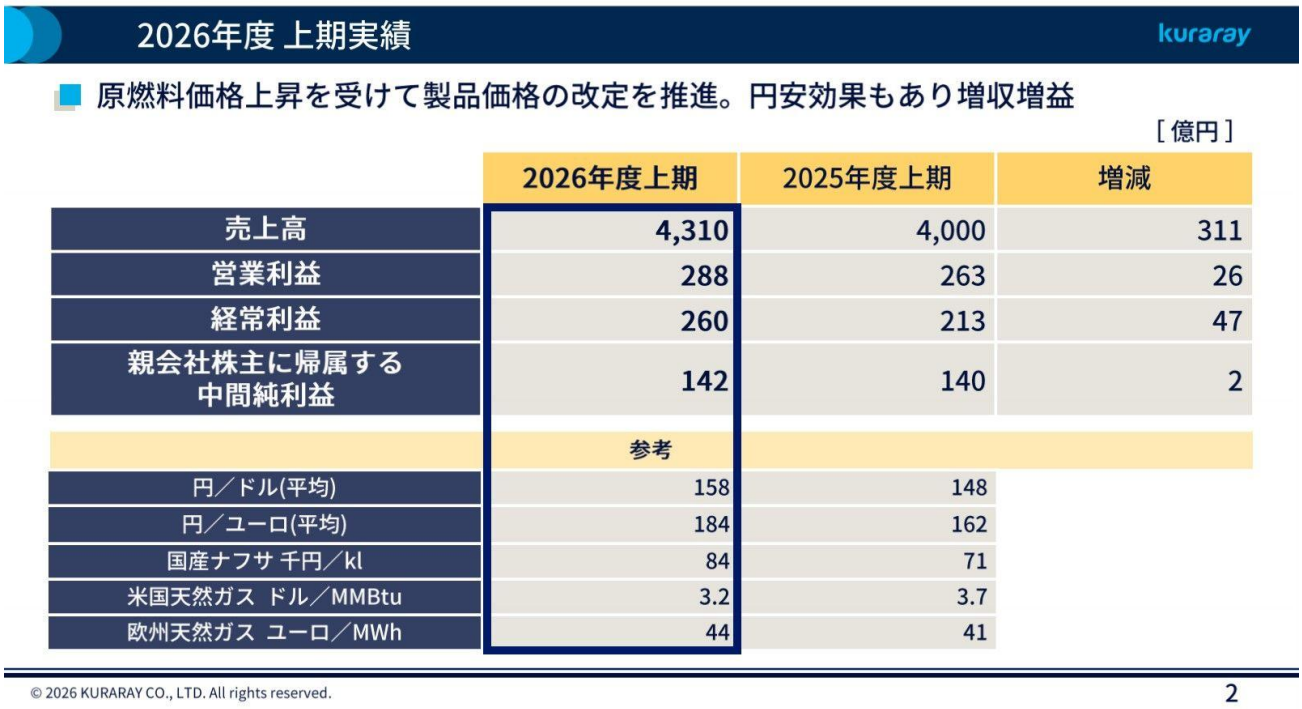
説明者

代表取締役 社長　　川原　仁

取締役 常務執行役員 ビニルアセテート樹脂カンパニー長
兼　ビニルアセテートフィルムカンパニー長
渡邊　知行

常務執行役員 経営企画室担当　　藤原　純一

2026 年 8 月 7 日



川原：本日はお忙しいところ、クラレグループの決算説明会にご参加いただきありがとうございます。社長の川原です。

それでは、2026 年度第 2 四半期の決算説明を始めさせていただきます。

26 年度上期の事業環境は、AI 関連投資などにより底堅く推移したものの、中東情勢の悪化を背景に先行き不透明な状況が続きました。

日本経済は、旺盛な設備投資などを背景に緩やかな回復が続いたものの、原燃料価格高騰による需要停滞の懸念が高まりました。

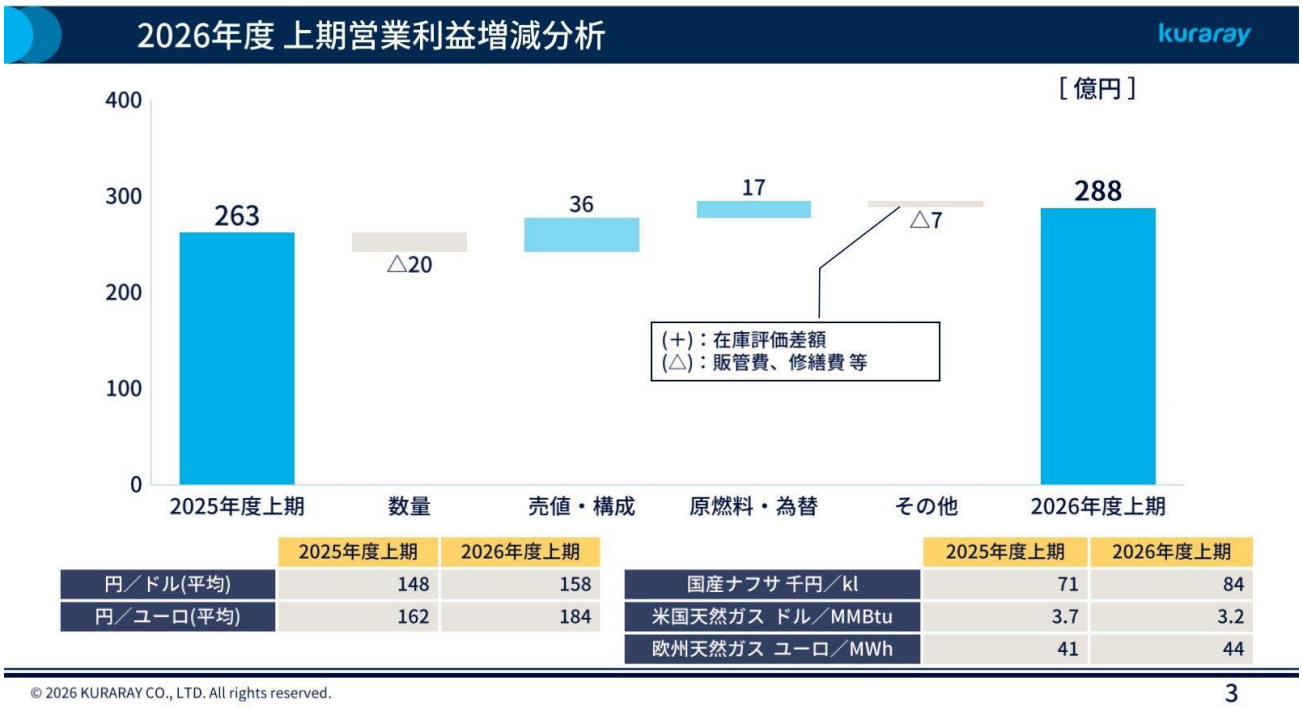
米国経済は、AI 関連投資や堅調な内需に支えられ底堅く推移したものの、物価や政策動向を巡る不確実性から成長ペースは緩やかなものとなりました。

欧州経済は物価高騰や先行きの不透明感が続き、低成長が継続しました。

中国経済は、不動産市場の低迷が継続したことに加え、内需も力強さを欠き、低成長が続きました。

そのような環境の中で当社グループの実績は、原燃料価格上昇を受けて製品価格の改定を推進したことに加え、円安効果もあり、売上高は、前年同期比 311 億円増の 4,310 億円、営業利益は、前年同期比 26 億円増の 288 億円、親会社株主に帰属する中間純利益は、2 億円増の 142 億円となりました。

なお、売上高 4,310 億円は中間期としては過去最高となりました。為替および原燃料の実績は、資料に示してある通りです。



	2025年度上期	2026年度上期
円／ドル(平均)	148	158
円／ユーロ(平均)	162	184

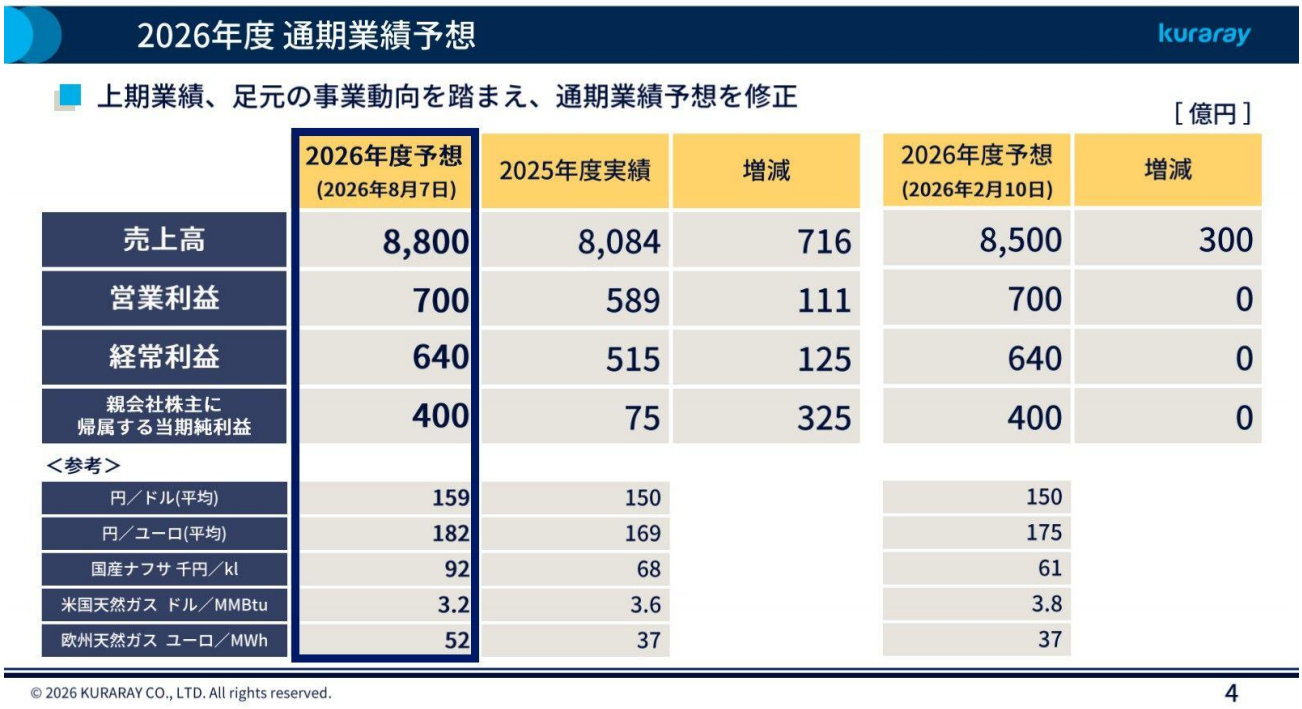
	2025年度上期	2026年度上期
国産ナフサ 千円／kl	71	84
米国天然ガス ドル／MMBtu	3.7	3.2
欧州天然ガス ユーロ／MWh	41	44

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

3

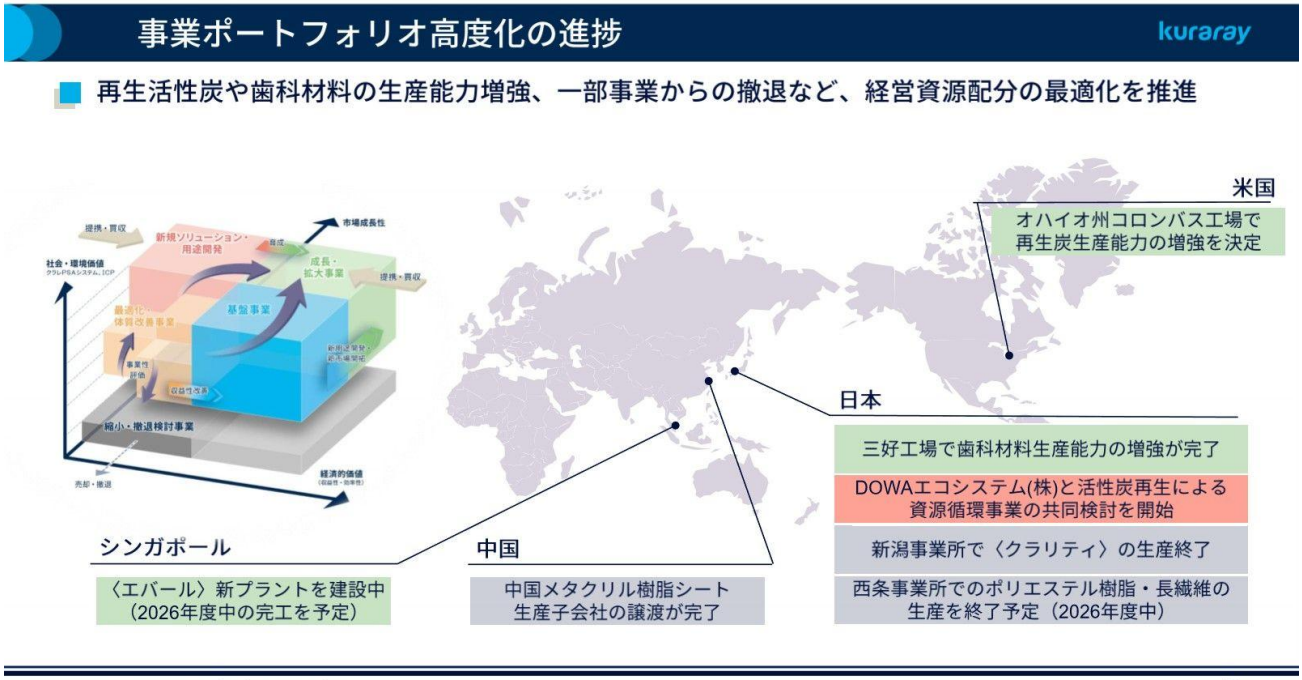
このスライドでは、営業利益の増減要因の全社まとめを、前年対比で示しております。

「数量」は、一部事業の販売数量減少に伴う操業度低下などにより、 20 億円の減益となりました。「売値・構成」は、中東情勢を背景とした原燃料価格上昇を受けて製品価格の改定を進めたことにより、36 億円の増益となりました。「原燃料・為替」は、原燃料価格が上昇した一方、為替が円安に振れた影響で、17 億円の増益となりました。「その他」は、在庫評価差額がプラス影響となりましたが、販管費や修繕費が増加したことなどにより、7 億円の減益となりました。

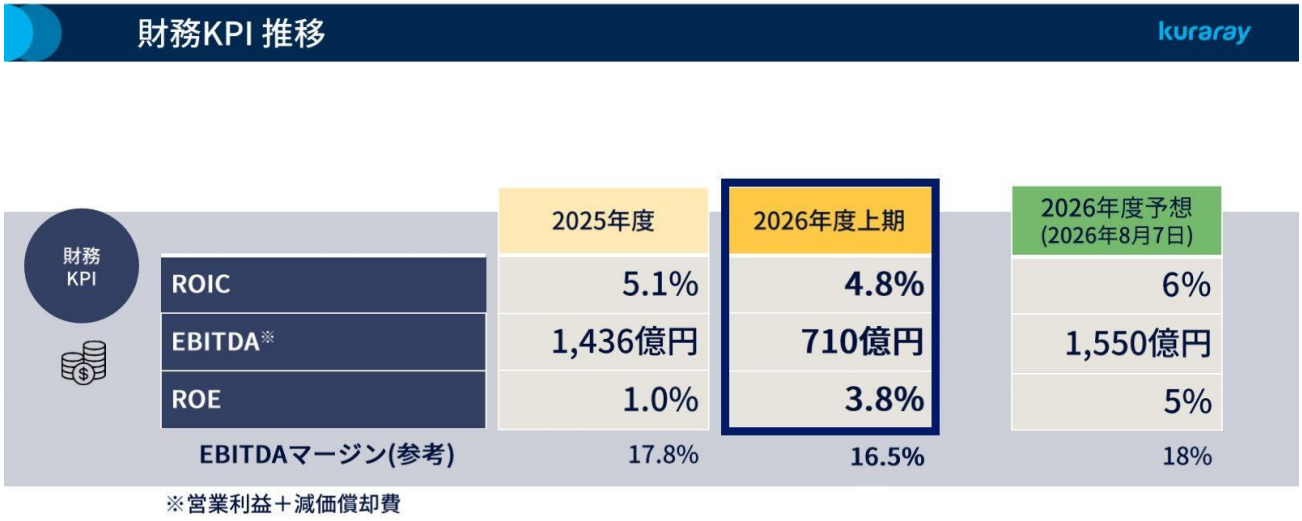


中東情勢を背景とした原燃料価格の上昇を受け、製品価格の改定を進めております。一方で、今後の需要動向については不透明感が高まっており、引き続き慎重に見極めていく必要があると考えております。

こうした事業環境を踏まえ、2 月に公表した通期業績予想を見直し、売上高は前回予想比 300 億円増の 8,800 億円へ修正いたします。なお、各利益につきましては、2 月公表の業績予想から変更ありません。



このスライドでは、 26 年度上期の事業ポートフォリオ高度化の進捗について示しております。
事業ポートフォリオの評価は、スライド左側のイラストに示す、縦軸の「社会・環境価値」、横軸の「経済的価値」、奥行方向の軸の「市場成長性」の 3 軸に加え、「ベストオーナー」の観点を加えて実施します。
中期経営計画において成長性、競争力の高い事業・製品の見極めを進め、各事業・製品を、イラストで示す 4 色の領域、緑色の「成長・拡大事業」 、水色の「基盤事業」、赤色の「新規ソリューション・用途開発」、オレンジ色の「最適化・体質改善事業」に位置づけました。更に、「最適化・体質改善事業」についての事業性を評価し、事業によっては縮小・撤退を判断しています。
26 年度上期の進捗として、「成長・拡大事業」では、活性炭事業において、米国オハイオ州コロンバス工場で再生炭の生産能力増強を決定しました。またメディカル事業では、23 年度に決定した愛知県三好工場における歯科材料の生産能力増強が完了し、6 月から稼働を開始しています。加えて、〈エバール〉のシンガポール新プラントも、26 年度中の完工に向け、建設工事が順調に進んでいます。「新規ソリューション・用途開発」の取り組みとしては、DOWA エコシステム株式会社と、活性炭の製造・供給から回収・再生までを一貫して行う資源循環事業について、共同検討を開始しました。一方、縮小・撤退の取り組みとしては、昨年までに公表した施策を着実に進めています。アクリル系ブロック共重合体〈クラリティ〉の生産が終了したほか、西条事業所におけるポリエステル樹脂・長繊維についても、計画通り 26 年度中の生産終了を予定しています。また、中国メタクリル樹脂シートの生産子会社の譲渡も完了しました。今後も事業ポートフォリオ高度化を推進し、よりサステナブルな事業構造への転換と成長の実現を目指していきます。



このスライドでは、中期経営計画「PASSION 2026 」で掲げた財務 KPI の、26 年度上期の実績、及び 26 年度通期の予想を示しています。

26 年度上期の実績としては、ROIC は 4.8%、EBITDA は 710 億円、ROE は 3.8%という結果となりました。26 年度通期の予想としては、ROIC は 6%、EBITDA は 1,550 億円、ROE は 5%を見込んでいます。



当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営の重要課題と位置付け、「親会社株主に帰属する当期純利益に対する総還元性向 50%以上、1 株当たり配当金の維持・増額、自己株式取得の継続的実施を目指す」を株主還元方針としています。

また当社は、2026 年 6 月 24 日に創立 100 周年を迎えました。これまで当社を支えてくださった株主・関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。100 周年を記念し、中間配当および期末配当にそれぞれ 5 円、年間 10 円の記念配当を実施する予定です。普通配当と合わせた中間配当額は 32 円、年間配当額は 64 円を予定しており、2 月に公表した予想から変更はございません。こちらの配当に加えて 3 月に完了した自己株式の取得を含めると、総還元性向は約 73%となります。

次に、決算の詳しい内容を藤原常務執行役員よりご説明します。

セグメント別 売上高・営業利益

kuraray

［億円］

	2026年度上期		2025年度上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	2,171	254	2,029	299	143	△45
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	459	18	399	△13	59	31
機能材料	1,103	49	986	17	118	32
繊維	319	42	298	△1	21	43
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	373	37	339	30	34	6
その他	158	8	217	19	△59	△11
調整額	△273	△119	△268	△89	△6	△30
合計	4,310	288	4,000	263	311	26

※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部に属する各事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。
これに伴い、2025年度の数値は当該変更を反映した数値となっています。

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

9

藤原：藤原でございます。決算の詳細について、ご説明申し上げます。

このスライドは、各セグメントの売上高および営業利益の実績を、前年同期との比較で示しています。イソプレン、機能材料、繊維、トレーディングが増益となりましたが、ビニルアセテートは減益となりました。

ビニルアセテートセグメントの概要

［億円］

	2025年度上期	2026年度上期	増減
売上高	2,029	2,171	143
営業利益	299	254	△45

【営業利益増減分析】

［億円］



ポバール樹脂	中東情勢による混乱の中で、グローバル供給体制を生かした需要の取り込みを行い、販売数量が増加。
光学用ポバールフィルム	国際的なスポーツイベントに向けたテレビの買い替え需要に加え、半導体メモリの逼迫や中東情勢の悪化を背景に、部材調達への懸念からサプライチェーンで在庫の積み増しが進んだ結果、販売数量が増加。
高機能中間膜	PVBフィルムは欧州・アジアを中心に競争環境の厳しさが継続しており、建築用途及び自動車用途ともに販売数量が減少。〈セントリグラス〉も中東情勢悪化を受けた顧客のプロジェクト延期などの影響により販売数量が減少。
水溶性ポバールフィルム	個包装洗剤の需要が低調に推移したことにより、販売数量が減少。
〈エバール〉	食品包装用途及び自動車用途ともに販売が堅調に推移する中、グローバル供給体制を生かした需要の取り込みもあり、販売数量が増加。
主な増減要因	原燃料価格の高騰による価格改定は進めたものの、一部事業の販売数量減少による操業度低下などにより、セグメント全体では減益。

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

10

ここからはセグメント別に事業の状況を説明いたします。

最初はビニルアセテートセグメントです。当セグメントは、前年対比で増収・減益となりました。各事業の販売の状況は、右上に記載のコメントをご覧ください。

営業利益は、前年同期比で 45 億円減少しました。「数量」は、高機能中間膜などの販売数量が減少したことや、これによる操業度低下の影響により、25 億円の減益となりました。「売値・構成」は、高機能中間膜の厳しい競争環境が継続しており、 13 億円の減益となりました。

「その他」は、定修影響で修繕費が増加したことなどにより、17 億円の減益となりました。以上のことからセグメント全体で減益となりました。

イソプレンセグメントの概要

［億円］

	2025年度上期	2026年度上期	増減
売上高	399	459	59
営業利益	△13	18	31

【営業利益増減分析】

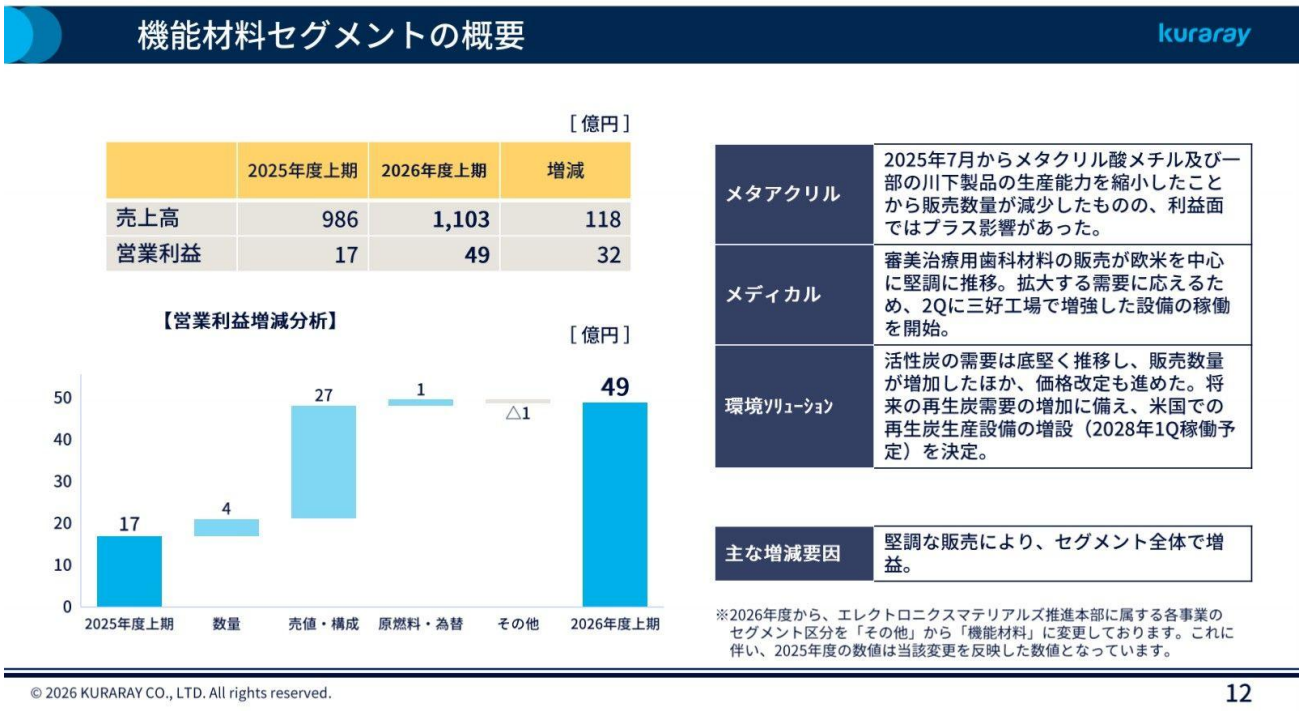


イソプレンケミカル、エラストマー	イソプレンケミカルは中国の建築用途需要低迷に加え、前年には米国関税政策の影響による需要の前倒しがあったことから、販売数量が減少。エラストマーは米国市場等で販売数量が増加したものの、欧州市場等においてアジアの競合メーカーとの競争激化による影響を受けた。
〈ジェネスタ〉	電気・電子用途、自動車用途とも拡販が進み、販売数量が増加。
主な増減要因	前年に計上した減損損失に伴う減価償却費の減少効果や一部在庫評価差額のプラス影響があり、セグメント全体で増益。

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

次にイソプレンセグメントです。当セグメントは 、前年対比で増収・増益となりました。各事業の販売の状況は、記載のコメントをご覧ください。

「数量」は、ジェネスタの販売数量が増えたことなどから、4 億円の増益要因となりました。「その他」は、在庫評価差額のプラス影響や昨年計上した減損損失に伴う減価償却費の減少効果などにより、28 億円の増益要因となりました。以上のことから、セグメント全体の営業利益は 31 億円の増益となりました。



機能材料セグメントは、前年同期比で増収・増益となりました。各事業の販売の状況は、右上のコメントの通りです。

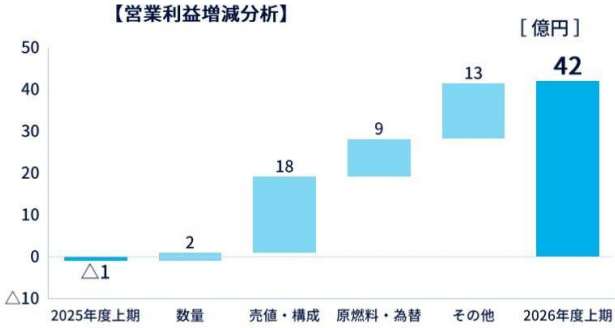
「数量」は、メディカル事業で販売が堅調だったことなどから、4 億円の増益となりました。「売値・構成」は、活性炭事業において価格改定を進めたほか、2025 年 7 月にメタアクリル事業でメタクリル酸メチル及び一部の川下製品の生産能力を最適化したことなどにより、27 億円の増益となりました。以上のことから、セグメント全体の営業利益は 32 億円の増益となりました。

繊維セグメントの概要

［億円］

	2025年度上期	2026年度上期	増減
売上高	298	319	21
営業利益	△1	42	43

【営業利益増減分析】

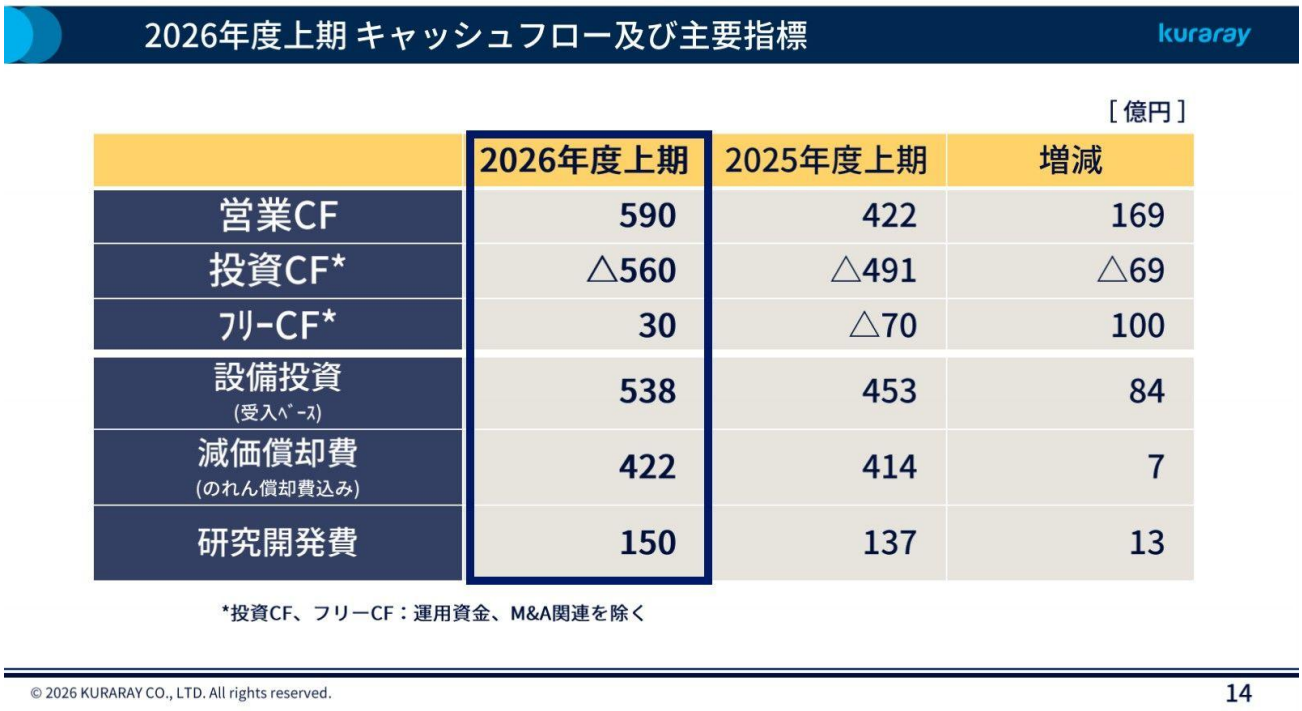


〈クラリーノ〉	靴用途などで需要が回復し、販売数量が増加。
繊維資材	〈クラロン〉は建材用途などの需要低迷で販売数量が低調に推移したものの、価格改定が進捗。加えて〈ベクトラン〉の販売が好調に推移。
主な増減要因	〈クラリーノ〉や〈ベクトラン〉などの販売数量が増加し、セグメント全体で増益。

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

繊維セグメントは、前年同期比で増収・増益となりました。各事業の販売の状況は、右上のコメントの通りです。

「売値・構成」は、PVA 繊維〈クラロン〉の価格改定が進捗したことに加え、販売構成が良化したことなどにより、18 億円の増益となりました。「その他」は在庫評価差額のプラス影響などにより、13 億円の増益となりました。以上のことから、セグメント全体の営業利益は 43 億円の増益となりました。



ふたたび、全社まとめの実績についてご説明します。このスライドでは、26 年度上期のキャッシュフロー及び主要な指標についてご説明します。

営業キャッシュフローは 590 億円、投資キャッシュフローはマイナス 560 億円、フリーキャッシュフローは 30 億円となりました。設備投資の受入ベースは、前年同期比 84 億円増の 538 億円となりました。減価償却費は 7 億円増の 422 億円、研究開発費は 13 億円増の 150 億円となりました。

貸借対照表①（資産の部）

kuraray

［億円］

	2026年6月末	2025年12月末	増減
流動資産	6,062	5,784	278
固定資産	7,446	7,251	195
資産合計	13,508	13,035	473

	2026年6月末	2025年12月末
円／ドル(期末)	162	157
円／ユーロ(期末)	185	184

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

15

このスライドでは、貸借対照表の資産の部を昨年末と比較しております。

流動資産は、現預金が増えた影響などにより、278 億円の増加となりました。また、固定資産は設備投資の増加などにより、195 億円の増加となりました。

貸借対照表②（負債と純資産の部）

kuraray

［億円］

	2026年6月末	2025年12月末	増減
流動負債	2,307	2,282	24
固定負債	3,517	3,201	316
負債合計	5,824	5,483	341
純資産合計	7,684	7,552	132
負債・純資産合計	13,508	13,035	473
自己資本比率	55.9%	57.0%	△1.0%

	2026年6月末	2025年12月末
円／ドル(期末)	162	157
円／ユーロ(期末)	185	184

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

16

このスライドでは、貸借対照表の負債・純資産の部を示しております。

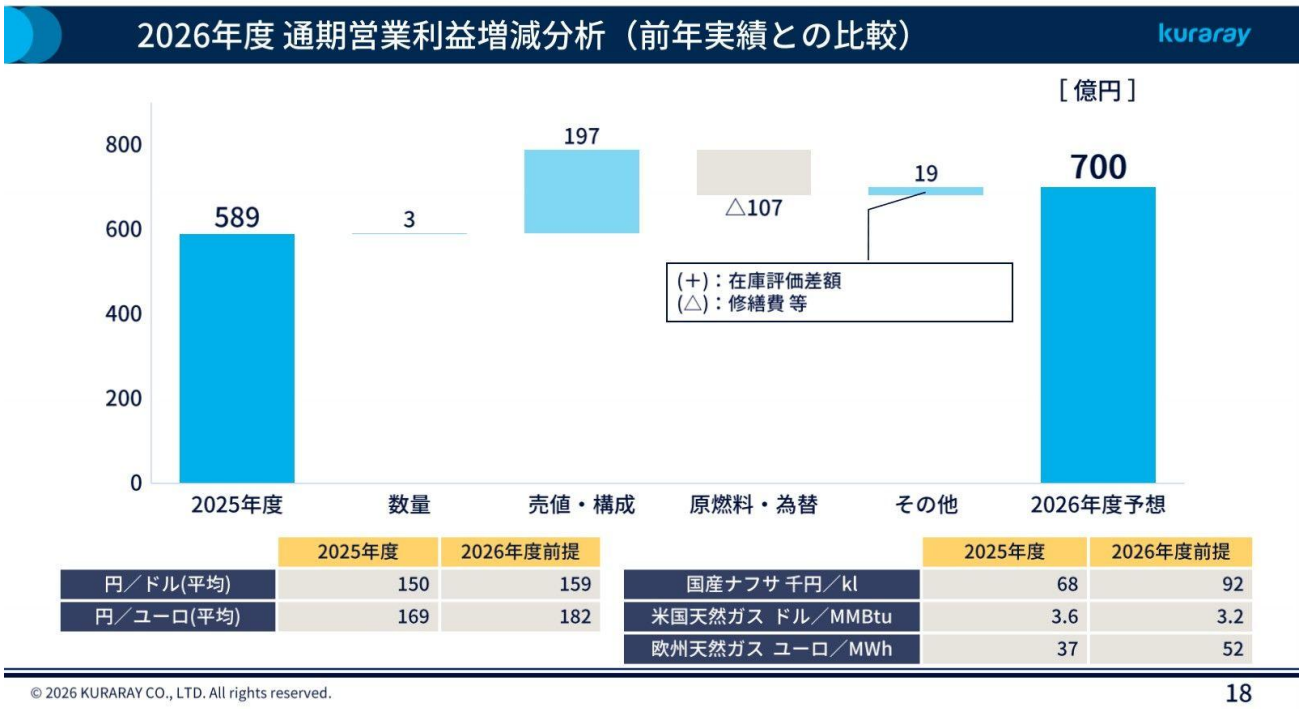
負債は、借入金の増加などにより、341 億円の増加となりました。純資産は、配当金支払いや 100 億円の自己株式の取得を行ったものの、円安で為替換算調整勘定が増加したことなどにより、132 億円の増加となりました。この結果、自己資本比率は 1.0 ポイント減少し、55.9%となりました。



このスライドでは、26 年度通期の業績予想について説明いたします。

売上高および各利益につきましては、先ほど川原が申し上げた通りです。一株当たりの当期純利益は、400 億円をベースに「132 円 76 銭」となります。配当は、年間 10 円の創立 100 周年記念配当を含めて年間 64 円を予定しております。

決定ベースでの設備投資は、本年 2 月に公表しました、米国オハイオ州コロンバスにおける再生炭生産設備の増設を含め、780 億円を見込みます。受入ベースは、シンガポールにおけるエバール新プラントの建設工事などにより、1,170 億円を見込んでいます。減価償却費は 3 億円増の 850 億円、研究開発費は 4 億円減の 280 億円となる見込みです。



	2025年度	2026年度前提
円／ドル(平均)	150	159
円／ユーロ(平均)	169	182

	2025年度	2026年度前提
国産ナフサ 千円／kl	68	92
米国天然ガス ドル／MMBtu	3.6	3.2
欧州天然ガス ユーロ／MWh	37	52

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

このスライドでは、25 年度実績対比の営業利益予想の増減要因を示しています。

26 年度は、原燃料価格の上昇と、それを背景とした販売価格改定を進めることにより、「売値・構成」は 197 億円の増益、「原燃料・為替」は 107 億円の減益となる見込みです。「その他」は修繕費が増加する一方、在庫評価差額のプラス影響により、19 億円の増益となる見込みです。全体では 111 億円の増益を見込んでいます。

セグメント別 売上高・営業利益比較

kuraray

［億円］

	2026年度予想 (2026年8月7日)		2025年度 実績		増減		2026年度予想 (2026年2月10日)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	4,310	630	4,045	625	265	5	4,200	630	110	0
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	960	25	804	△49	156	74	930	30	30	△5
機能材料	2,340	135	2,078	89	262	46	2,220	145	120	△10
繊維	660	55	607	26	53	29	630	45	30	10
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	740	70	688	60	52	10	700	65	40	5
その他	400	15	399	37	1	△22	410	10	△10	5
調整額	△610	△230	△537	△201	△73	△29	△590	△225	△20	△5
合計	8,800	700	8,084	589	716	111	8,500	700	300	0

※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部に属する各事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。
これに伴い、2025年度の数値は当該変更を反映した数値となっています。

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

19

このスライドでは、今回の修正予想を、前年度実績、および年初予想と比較して、示しております。

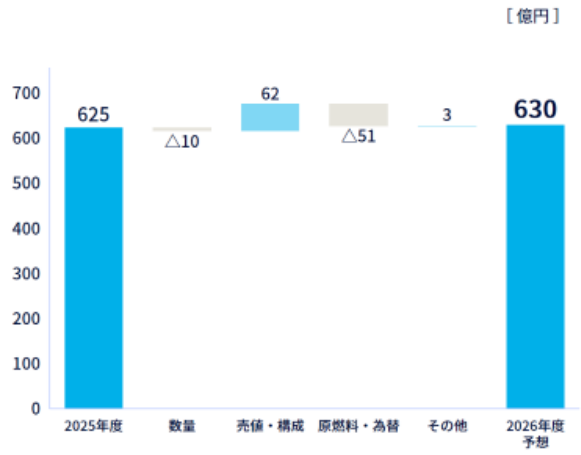
20 ページ目以降は参考資料となります。

以上でご説明を終わります。ありがとうございました。

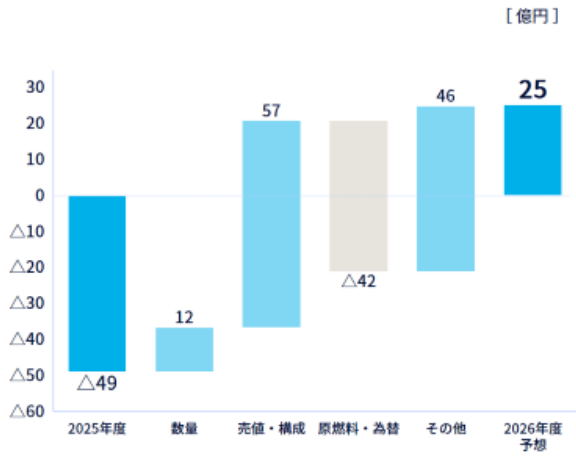
【参考】セグメント別 営業利益増減分析（前年実績との比較）

kuraray

ビニルアセテートセグメント



イソプレンセグメント

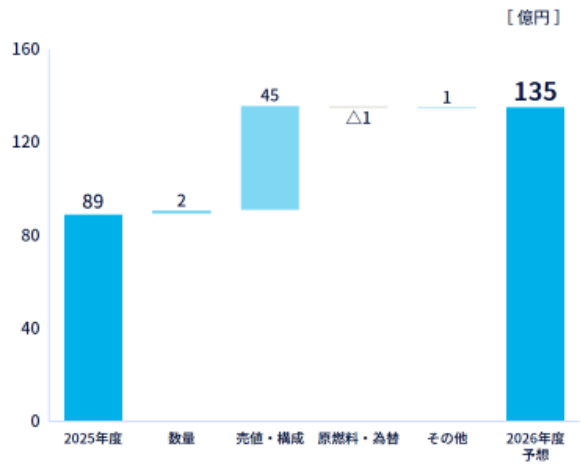


© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 営業利益増減分析（前年実績との比較）

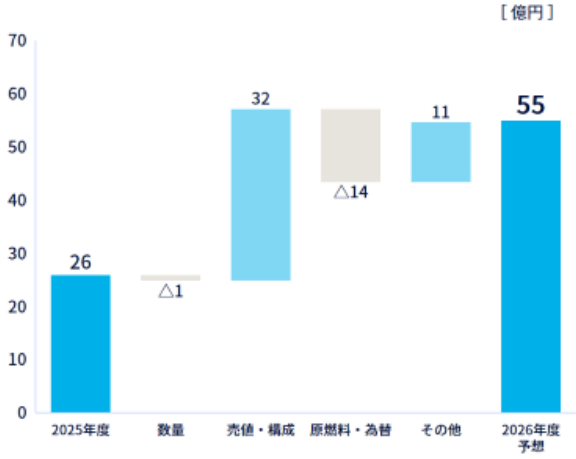
kuraray

機能材料セグメント



※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部に属する各事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。これに伴い、2025年度の数値は当該変更を反映した数値となっています。

繊維セグメント



© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】2026年度 業績予想（前年実績との比較、半期）

kuraray

［億円］

	2026年度予想 (2026年8月7日)			2025年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	4,310	4,490	8,800	4,000	4,085	8,084	311	405	716
営業利益	288	412	700	263	326	589	26	85	111
経常利益	260	380	640	213	302	515	47	78	125
親会社株主に帰属する当期純利益	142	258	400	140	△66	75	2	323	325

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 売上高予想（前年実績との比較、半期）

kuraray

［億円］

	2026年度予想 (2026年8月7日)			2025年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	2,171	2,139	4,310	2,029	2,016	4,045	143	123	265
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	459	501	960	399	404	804	59	97	156
機能材料	1,103	1,237	2,340	986	1,093	2,078	118	144	262
繊維	319	341	660	298	310	607	21	31	53
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	373	367	740	339	349	688	34	18	52
その他	158	242	400	217	182	399	△59	60	1
調整額	△273	△337	△610	△268	△269	△537	△6	△68	△73
合計	4,310	4,490	8,800	4,000	4,085	8,084	311	405	716

※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部に属する各事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。
これに伴い、2025年度の数値は当該変更を反映した数値となっています。

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 営業利益予想（前年実績との比較、半期）

［億円］

	2026年度予想 (2026年8月7日)			2025年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	254	376	630	299	327	625	△45	49	5
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	18	7	25	△13	△36	△49	31	43	74
機能材料	49	86	135	17	72	89	32	14	46
繊維	42	13	55	△1	27	26	43	△14	29
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	37	33	70	30	30	60	6	3	10
その他	8	7	15	19	18	37	△11	△11	△22
調整額	△119	△111	△230	△89	△112	△201	△30	1	△29
合計	288	412	700	263	326	589	26	85	111

※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部に属する各事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。
これに伴い、2025年度の数値は当該変更を反映した数値となっています。

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】2026年度 業績予想（年初予想との比較、半期）

［億円］

	2026年度予想 (2026年8月7日)			2026年度予想 (2026年2月10日)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	4,310	4,490	8,800	4,100	4,400	8,500	210	90	300
営業利益	288	412	700	240	460	700	48	△48	0
経常利益	260	380	640	210	430	640	50	△50	0
親会社株主に帰属する当期純利益	142	258	400	130	270	400	12	△12	0

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 売上高予想（年初予想との比較、半期）

kuraray

［億円］

	2026年度予想 (2026年8月7日)			2026年度予想 (2026年2月10日)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	2,171	2,139	4,310	2,050	2,150	4,200	121	△11	110
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	459	501	960	440	490	930	19	11	30
機能材料	1,103	1,237	2,340	1,060	1,160	2,220	43	77	120
繊維	319	341	660	310	320	630	9	21	30
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	373	367	740	340	360	700	33	7	40
その他	158	242	400	170	240	410	△12	2	△10
調整額	△273	△337	△610	△270	△320	△590	△3	△17	△20
合計	4,310	4,490	8,800	4,100	4,400	8,500	210	90	300

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 営業利益予想（年初予想との比較、半期）

kuraray

［億円］

	2026年度予想 (2026年8月7日)			2026年度予想 (2026年2月10日)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	254	376	630	220	410	630	34	△34	0
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	18	7	25	15	15	30	3	△8	△5
機能材料	49	86	135	60	85	145	△11	1	△10
繊維	42	13	55	15	30	45	27	△17	10
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	37	33	70	30	35	65	7	△2	5
その他	8	7	15	0	10	10	8	△3	5
調整額	△119	△111	△230	△100	△125	△225	△19	14	△5
合計	288	412	700	240	460	700	48	△48	0

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 四半期売上高推移

［億円］

	2025年度					2026年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	1,004	1,025	985	1,031	4,045	1,019	1,152	2,171
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	197	203	186	219	804	215	244	459
機能材料	478	508	506	587	2,078	528	575	1,103
繊維	134	163	140	170	607	140	179	319
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	167	172	151	197	688	178	196	373
その他	109	108	96	87	399	72	86	158
調整額	△141	△127	△129	△140	△537	△143	△131	△273
合計	1,948	2,052	1,935	2,150	8,084	2,009	2,301	4,310

※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部に属する各事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。
これに伴い、2025年度の数値は当該変更を反映した数値となっています。

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

［億円］

	2025年度					2026年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	159	140	187	140	625	110	143	254
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	28	△41	△9	△27	△49	29	△11	18
機能材料	14	4	30	42	89	34	15	49
繊維	△6	5	14	13	26	11	31	42
ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ	14	17	12	18	60	16	21	37
その他	8	11	11	7	37	4	4	8
調整額	△30	△59	△44	△68	△201	△55	△63	△119
合計	187	76	201	125	589	149	140	288

※2026年度から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部に属する各事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しております。
これに伴い、2025年度の数値は当該変更を反映した数値となっています。

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】モデリングツール（2025年実績）

kuraray

営業利益影響額の概算イメージ

［億円］
＋：利益、△：損失

	2025年度上期				2025年度下期				2025年度
	定修費用	操業休止関連	在庫評価差額	計	定修費用	操業休止関連	在庫評価差額	計	計
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	△20	△20	△30	△70	△5	20	30	45	△25
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	△20	0	5	△15	0	0	△10	△10	△25
機能材料	△5	△20	0	△25	0	0	5	5	△20
繊維	0	0	△5	△5	0	0	5	5	0
計	△45	△40	△30	△115	△5	20	30	45	△70

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】モデリングツール（年初予想）

kuraray

営業利益影響額の概算イメージ

［億円］
＋：利益、△：損失

	2026年度上期（予想）				2026年度下期（予想）				2026年度（予想）
	定修費用	操業休止関連	在庫評価差額	計	定修費用	操業休止関連	在庫評価差額	計	計
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	△40	0	△50	△90	△15	0	10	△5	△95
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	△20	0	5	△15	0	0	△5	△5	△20
機能材料	0	0	△15	△15	0	0	5	5	△10
繊維	0	0	△5	△5	△5	0	10	5	0
計	△60	0	△65	△125	△20	0	20	0	△125

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.

【参考】モデリングツール（上期実績、下期修正予想）

営業利益影響額の概算イメージ

［億円］
＋：利益、△：損失

	2026年度上期				2026年度下期（予想）				2026年度（予想）
	定修費用	操業休止関連	在庫評価差額	計	定修費用	操業休止関連	在庫評価差額	計	計
ﾋﾞﾆﾙｱｾﾃｰﾄ	△40	0	△30	△70	△15	0	50	35	△35
ｲｿﾌﾟﾚﾝ	△20	0	15	△5	0	0	△5	△5	△10
機能材料	0	△5	△5	△10	0	0	10	10	0
繊維	0	0	5	5	△5	0	5	0	5
計	△60	△5	△15	△80	△20	0	60	40	△40

© 2026 KURARAY CO., LTD. All rights reserved.